

一般避難スペースの準備

この作業は手順5の体育館建物安全確認後に着手してください！

(1) 体育館の中に避難スペースとなる区画を表示してください。

★区画のレイアウトは、平面図中の2100mm四方正方形＝右肩No.1～41です。

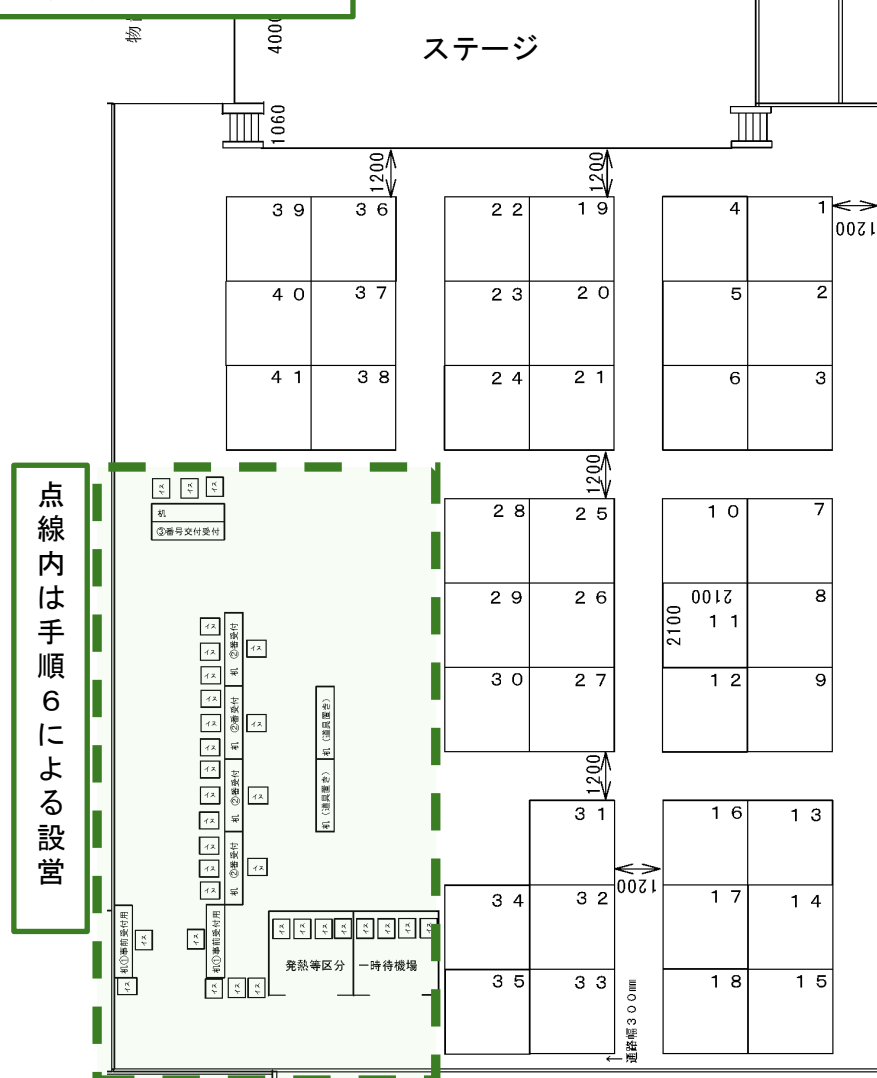
★必要な道具類を備蓄倉庫内に【手順No.1 1用道具一式】と表示して保管していますので取出して着手してください。

(2) 区画の表示方法

★平面図＝レイアウト図はNo.1 1-3に大きく表示。区画が2100mm四方、通路幅が1200mmであることなどを確認してください。

★養生テープを区画外枠線（延べ245.7m）の上に貼り、区画外枠を表示してください。（養生テープ幅の中央を線上とすることで構いませんが、テープ辺を線に合わせる場合は、テープを区画の内側に揃えてください。：車イス対応）

体育館：区画等平面図



手順一覧

- 手順1
リーダー決定
避難所開設開始
- 手順2
発電機と投光器の設営
- 手順3
最初の待機場所に誘導
- 手順4
安全点検未了建物への
立入禁止処置
- 手順5
施設内の安全点検
- 手順6
受付場所設営
- 手順7
受付への誘導
公民館への誘導
- 手順8
事前（保健）受付
- 手順9
トイレの準備
- 手順10
専用スペースの準備
- 手順11
一般避難スペース準備
- 手順12
総合受付
- 手順13
ライフライン確認
- 手順14
市本部連絡
本部と班の編成

一般避難スペースの準備

(3) 表示された避難区画の取り扱い

1. 避難直後

互いにコミュニケーションを取りやすくするため何も設置しません。

2. 避難直後でも状況に応じた対応

ただし、気温等に応じて次の対応を行います。

対応の規模により、リーダーに報告し作業人員を追加してもらいます。

★市備蓄倉庫にパーティションが保管されています。組立に時間を要しますので、使用する場合は、避難者に組み立ててもらってください。

★今後、市は（当自主防が少数所有のベンリー間仕切りⅢのような）ワンタッチで展開できる間仕切りに更新する可能性があります。

★ベンリー間仕切りⅢは、床用アルミマットが付属。



★当自主防は、「真空パック毛布」を所有し消防団旧屯所に備蓄しています。2024年12月現在は250枚の備蓄ですが、今後、拡充を予定しています。

★床の準備として、市備蓄倉庫に段ボール式ベッドが備蓄されています。

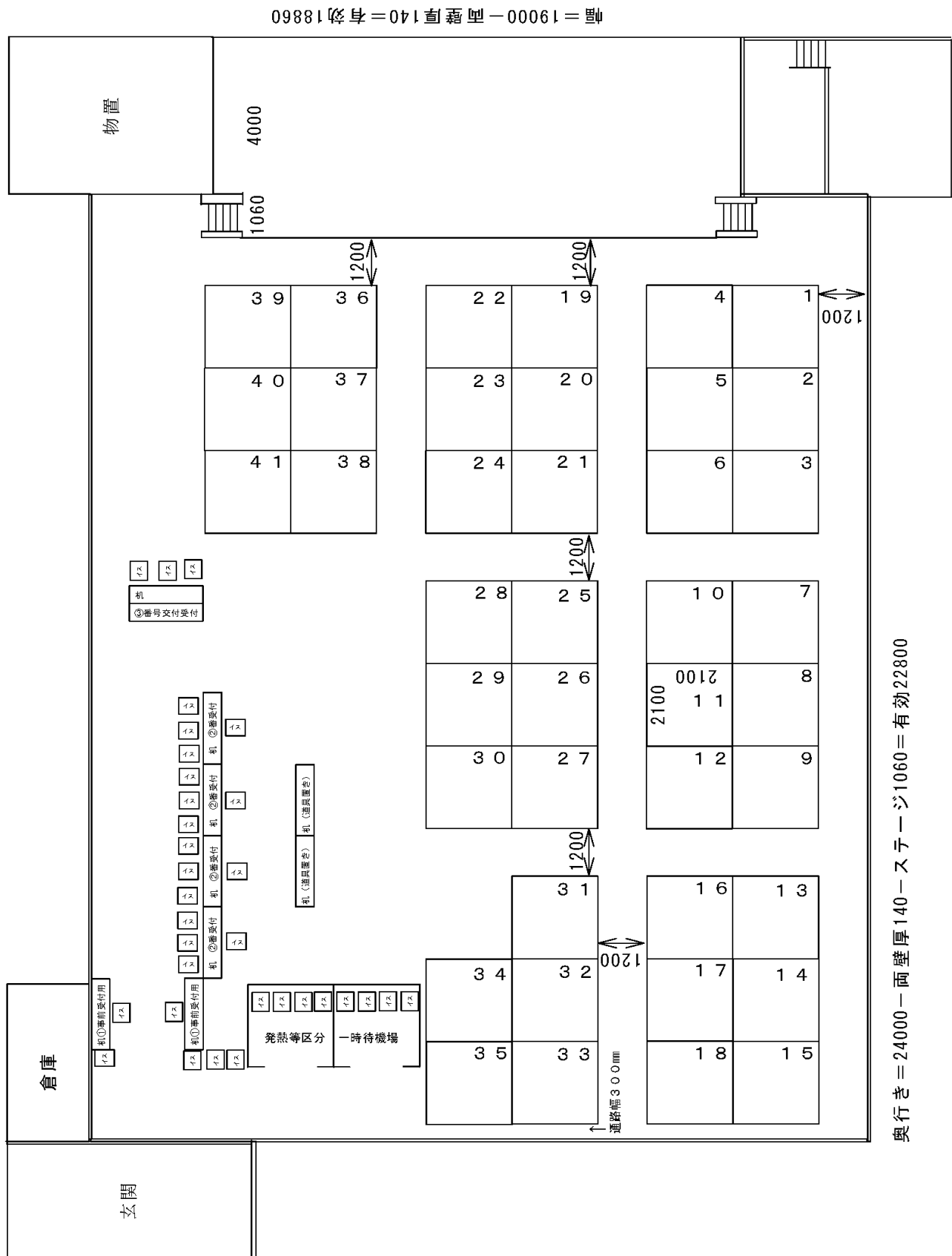
これもパーティション同様に時間を要しますので避難者に組み立ててもらいましょう。

3. 乳幼児・妊産婦等の要配慮者を受け入れる場合

基本は、常磐総合コミュニティセンターに要配慮者の受け入れを集約し、それが不都合となる場合でも校舎内にスペースを確保することとしています。どうしても体育館内に収容する場合は、リーダーと手順No.12 総合受付との間で協議の上、間仕切り用品を優先使用するなどして配慮願います。

この手順方式は、巨大地震発災直後から公的支援が届かない期間を住民の共助により減災しようとするものですから物資不足は否めませんので最大限の工夫を願います。

一般避難スペースの準備



一般避難スペースの準備

設営が終わったら
全員で、リーダーに報告し
この手順書を返却しましょう！